

# 石狩北部地区消防事務組合

消防本部予防課長兼

石狩消防署予防課長

消防司令

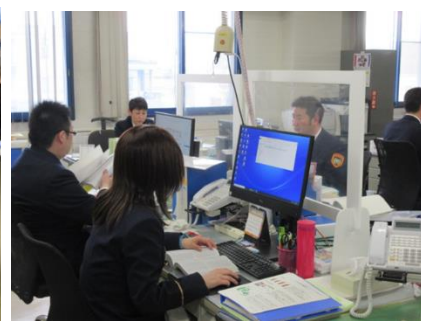
にしかわ

西川

まゆみ

真弓

さん



## 仕事の内容、やりがい、心がけていること

私が所属している消防本部兼石狩消防署の予防課は、病院やお店などに設置されている消防設備が法律に適合しているか検査したり、認定こども園やイベントにお伺いして「火遊びをしない」お願いや、「火を出さない」よう呼び掛けを繰り返し行ったり、火災の原因を調査して情報をお伝えすることで、類似火災を未然に防いだり、防火に対する意識を高めていただき、住民の皆さんが安心して笑顔で暮らせるまちを目指して課員一丸となって任務に就いています。

現在は、コロナ禍で外勤が思うようにできないので、ホームページや様々な広報媒体を活用しながら新しい火災予防広報についても課のみんなで検討し、実施しています。

災害時には出勤しなければならない課員もいて二交代制で当直しているため、週に1、2回しか会えないこともあります。申し送りや直接話す時間をとるなど、積極的にコミュニケーションを取るようにして、アイデアや意見をたくさんもらっています。

## なぜ消防吏員※になろうと思ったのか？

※階級を有し、消火活動中の緊急措置等、消防法上の権限を有する者

小さい頃から体を動かすことが好きで、人を助ける仕事がしたいと考え警察官になりたいと考えていて、同職種の自衛官も消防士も受験し、石狩消防署に採用されました。出身が札幌市のため幼稚園や小学校に女性の消防士さんが来てくれていたので、採用当時（H7）は札幌市を除き、私が道内初の女性消防吏員ということを知りませんでしたし、逆にどうしていなかったのか不思議に思ったくらいなので特別な感じはありませんでした。

## 大変だと感じるとき

勤務中は、いつ災害が発生するかわかりませんし、事案によっては一刻一秒を争う現場もあり、どんな災害にでも対応しなければならないので、男女問わず、常に緊張感と使命感をもって働いています。

## 喜びを感じるとき

一番は住民の皆さんを無事に助けた時、ありがたうとおっしゃっていただけた時に喜びを感じます。また、私も含めて女性消防吏員がいることを知ってお声を掛けていただけることも嬉しく感じます。

## ある一日のスケジュール

西川さんのある一日に密着しました。



6時

起床して、体力づくりのために、30～40分ほどランニングをしています。石狩市は、犬の散歩やウォーキングをされている方がとても多いなと感じています。



13時

昼からもデスクワークがメインですが、時々組合内の各署（当別・新篠津）または新港、厚田、浜益の支署に事務連絡や打合せに出かけます。



8時45分

出勤です。ミーティングと朝礼のあとに始業します。私はデスクワークがメインです。火災予防広報、消防用設備等の審査や検査を行います。



17時15分

私は毎日勤務なので業務は終了しますが、当直の職員は翌日の朝まで勤務するため、申し送りをして帰宅します。



12時15分

45分間のお昼休みで、お昼ご飯を食べて、午後からの仕事に備えます。時々、お昼休みでも災害が発生することもあり、出勤はしませんが対応します。



19時

小学生からサッカーを続けており、今はフットサルがメインですが、週末の北海道女子フットサルリーグのために、練習に参加して汗を流しています。

## 今後の目標

総務省消防庁では、平成6年の女性労働基準規則の一部改正により、深夜業の規制が解除され、指令管制、消防、救急隊などの業務も可能となり、消防吏員全体に占める女性の割合を5%にするという目標を掲げています。現在、当組合の女性の割合は約2%で、私を含めて3人の女性消防吏員が勤務していて、うち1人は救急救命士として現場で活躍しています。札幌市を含めて、石狩管内の近郊市町村でも、江別市5人、千歳市4人、北広島市3人、恵庭市2人の女性消防吏員が活躍しています。

道内の各市町村でも仲間が増えていますので、もっと女性消防吏員が増えたらいいなと思っていますし、住民サービスの向上など更なる活躍が期待されているので、ぜひこれからも、たくさんの元気な仲間と一緒に働きたいと思います。

また、ぜひ多くの方に消防団員になっていただきたいです。消防団員は、市町村に居住または勤務する方で18歳以上50歳未満の防災意識を持つ健康な方であれば男女問わずなれるので、消防団員の方と力を合わせて、防災に強いまちにしたいです。

## 将来の職業について考えている人へのメッセージ

今は新しい職業がどんどん増えている時代です。まずは、いろいろなことに興味をもって、挑戦してみたいと思っています。また、嫌いなことは長続きしないので、悩みながら自分の好きなことや、好きになれるようなことを見つけてください。

